

※※印：2008年 6月改訂(第6版)
 ※印：2007年12月改訂

日本標準商品分類番号
872316

貯法：●室温保存 ●開封後は湿気を避けて保存すること。
使用期限：外装に表示の使用期限内に使用すること。 (使用期限内であっても、開封後はなるべく速やかに使用すること。)
※ 取扱い上の注意：「取扱い上の注意」の項参照

承認番号	21000AMZ00369000
薬価収載	1998年7月
販売開始	1998年7月

乳酸菌製剤

ビフラミン[®]末

BIFLAMIN

ラクトミン製剤

【組成・性状】

組成	1g中：ラクトミン……………1g 〔1g中、乳酸菌(<i>Streptococcus faecalis</i>)の生菌を1億～10億個含む。〕 (添加物) トウモロコシデンプン、白糖、バレイシヨデンプン
性状	白色～わずかに黄褐色の粉末で、においはないか、又はわずかに特異なおいがある。

※【取扱い上の注意】²⁾

安定性試験結果の概要
 最終包装製品を用いた長期保存試験(24ヵ月)の結果、ビフラミン末は通常の市場流通下において安定であることが確認された。

【包装】

ビフラミン末
 パラ包装：1kg

【効能・効果】

腸内菌叢の異常による諸症状の改善

【用法・用量】

通常成人1日3～9gを3回に分割経口投与する。
 なお、年齢、症状により適宜増減する。

【使用上の注意】

適用上の注意

調製時：アミノフィリン水和物、イソニアジドとの配合により着色することがあるので配合を避けることが望ましい。

【薬効薬理】

- 作用機序
 本剤の乳酸菌は腸内でよく定着し、乳酸等を産生して腸内菌叢の正常化をはかり、整腸作用を示す。
- 腸内作用¹⁾
*Streptococcus faecalis*菌投与により、モルモットの腸内における定着、糞便の固形化及び体重の増加速度は対照を上回ることが認められている。
- 抗菌作用¹⁾
*Streptococcus faecalis*菌投与により、モルモット及びニワトリにおける大腸菌の有害作用の消失が認められている。

【主要文献】

- 1) 田波：総合医学, 17(12), 865, 1960
- ※2) 大洋薬品工業株式会社内資料(安定性試験)

※、※※【文献請求先】

主要文献欄に記載の文献・社内資料は下記にご請求下さい。
 大洋薬品工業株式会社 タイヨーDIセンター
 〒453-0801 名古屋市中村区太閤一丁目24番11号
 TEL 0120-080-601 FAX 052-459-2853